

# 2016年国立台湾大学スプリングスクール開催のご案内

Spring Intensive Program for Chinese Language & Culture

## —京都大学学生交流協定による短期留学プログラム—

**【学費免除・奨学金付】**

### 【日程】

- 2月 29日(月) 台湾到着、寮チェックイン
- 3月 1日(火) オリエンテーション・プレースメントテスト
- 3月 2日(水) - 3月17日(木) 授業
- 3月18日(金) 発表、歓送パーティー
- 3月20日(日) 帰国

### 【プログラム内容】

世界的にも有名な国際華語研修所(ICLP)にて中国語学習、台湾体験コースが提供されます。受講生は優れた中国語教育を受けることができると同時に、台湾文化、歴史、社会、地理環境などについて一歩踏み込んだ異文化体験・理解を得ると同時に、各国からの留学生と共に学び交流を深めます。

### 【詳細】

- ・募集人数: 5名程度
- ・募集対象: 京都大学に在籍する学部生・大学院生
- ・募集条件: 異文化体験・学習について高い意識を持つ者  
授業についていけるだけの十分な語学力(中国語・英語)を有する者
- ・宿泊先: NTNU Campus Inn  
2人部屋もしくは3人部屋
- ・費用詳細: 学費 : USD1230  
申請費 : USD200  
プログラム費 : USD1130~1230 ※参加人数による  
プログラム費には以下が含まれています。  
(文化活動・校外見学・見学旅行の費用、教材費、寮費、送迎バス)
- その他諸費用: 渡航費(5-6万円程度)、日本国内移動費、食費、  
AIU海外旅行保険(全員必須、治療・救援費用無制限)(21日: 14,770円)
- ・奨学金・補助金・学費免除  
以下のとおり各種支援を行う予定です。  
**学費免除 : 5名(US\$1,230)**  
**ジョン万奨学金 : 若干名(6万円)**  
**JASSO奨学金 : 2名程度(6万円)**  
**航空券代補助 : 2名(上限8万円)**



台湾大学正門



台湾大学の椰林大道



故宮博物院



### 【申込み】

下記HPより募集要項を確認し、オンライン申請後、必要書類をそろえ吉田本部構内国際交流センター 国際教育交流課迄提出すること  
担当: 国際教育交流課交流支援掛 075-753-2205  
<国際交流センター> <http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/>  
<アジア研究教育ユニット(KUASU)> <http://www.kuasucpier.kyoto-u.ac.jp/>

- ・選考: 書類審査および面接により行います。
- ・選考後の手続き: 本学から推薦することとなった者には、本人宛に出願方法の連絡をします。

**・申込締め切り: 2015年12月11日(金)正午**

- ・書類選考結果通知: 2015年12月15日(火)
- ・面接: 2015年12月16日(水) 12:10~12:50  
17日(木) 12:10~12:50、16:30~18:00
- ・最終結果通知: 2015年12月18日(金)
- ・オリエンテーション: 2015年12月21日(月) 12:10~12:50(出席必須)  
場所: 吉田南構内・吉田国際交流会館 地下1階 第6講義室
- ・海外渡航のためのヘルスケア・安全教育講義:  
2016年1月予定(出席必須)

・本件照会先: 国際交流センター 韓 立友・河合 淳子・家本 太郎  
[ryuga-east.asia@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:ryuga-east.asia@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) (短期留学プログラム東アジア代表アドレス)

### 【備考】

- ・本プログラムは他プログラムとの併願を認めていません。
- ・自然災害等その他事由により、プログラムが中止になることがあります。
- ・参加者全員に治療・救援費用無制限のAIU海外旅行保険「インフィニティ・プラン」への加入が義務付けられます。
- ・本プログラムに参加しても、京都大学の単位を取れるわけではありません。
- ・本プログラムに引率者は付きません。航空券・ビザの手配、台湾国内移動については追って指示します。
- ・本プログラムは、国際交流推進機構 国際交流センター提供の全学共通科目「日本語・日本文化演習」(前期: 月曜5限/後期: 火曜2限)を受講した上での参加を推奨しています。
- ・本プログラムは「大学の世界展開力強化事業~ASEAN諸国等との大学間交流形成支援~「開かれたASEAN+6」による日本再発見—SENDを核とした国際連携人材育成」及びジョン万プログラム奨学金の支援を受けて行われています。